

指定管理者評価票

年度	令和7年度
担当部署	福祉部 福祉課 福祉推進係

1 公の施設

施設名称	瑞穂町ふれあいセンター		
所在地	瑞穂町大字石畑2008番地		
施設概要	敷地面積2450.30㎡、建物面積1578.61㎡、構造：鉄筋コンクリート造2階建、エレベーター2基		
設置年月日及び経過年数（導入時）	昭和48年4月完成	導入後	16 年経過

2 指定管理者及び業務内容

指定管理者	団体名	社会福祉法人 瑞穂町社会福祉協議会			
	所在地	瑞穂町大字石畑2008番地			
指定管理期間	令和7年4月1日～令和12年3月31日	選定方法	非公募	利用料金制	導入
指定管理の目的及び求める効果	ふれあいセンターの設置目標に沿った管理運営と、地域のコミュニケーションや交流活動を促進するための拠点として、利用しやすい施設となることを目的とします。				
指定管理の業務内容	1 運営に関すること （使用の許可及び使用制限に関する含む） 2 施設、設備の維持及び保全に関すること 3 清掃その他環境衛生管理に関すること 4 利用料金の収受				

3 施設の利用状況

（単位：人）

利用状況（量）を示す指標名		前指定末 令和6年度	指定期間中の実績				
			令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
①	利用者	27,137	25,397				
②	文化向上事業	50	35				
③							
④							

4 指定管理者の収支状況

会計方式

発生主義

（単位：円）

		前指定末 令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
収入	指定管理料	20,252,000	20,614,000				
	利用料金収入	1,439,800	764,000				
	その他	366,900	252,691				
	計	22,058,700	21,630,691				
支出	支出	20,897,889	21,945,221				
	うち修繕費	753,500	514,300				
	うち人件費	6,201,000	7,156,000				
	その他	13,943,389	14,274,921				

5 今年度の変更点

施設管理・改修に関する こと	令和7年度	非常用照明バッテリー及び誘導灯修繕、ボランティアセンター系統空調室外機ベルマウス修繕、ピロティーセンサーライト修繕、排水管修繕、建物北側屋外照明器具修繕、ボランティアセンター出入口修繕、電話機鳴動設定作業、ワイヤレスマイク交換
	令和8年度	
	令和9年度	
	令和10年度	
	令和11年度	
事務改善及び効率化等に関する こと	令和7年度	夜間の団体利用が無い日も、管理人が18時半まで待機するよう改善した。
	令和8年度	
	令和9年度	
	令和10年度	
	令和11年度	
利用状況に関する こと	令和7年度	スポーツ推進委員の協力を得て体力づくり講座（地域交流事業）を実施し、施設のPRを行なった。
	令和8年度	
	令和9年度	
	令和10年度	
	令和11年度	

6 経費比較（前指定末と指定後）

（単位：円）

		令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
算定	指定後	20,614,000				
	前指定末（令和6年度）	20,252,000				
	比較	362,000				
実経費	指定後	20,614,000				
	前指定末（令和6年度）	20,252,000				
	比較	362,000				

※実経費では、「町職員人件費」及び「物品提供金額」を除外

7 個別評価

評価ランク		評価内容
良い	5	協定等を遵守し、仕様に沿った管理であった。
やや良い	4	協定等を遵守し、おおむね仕様に沿った管理であった。
普通	3	協定等をほぼ遵守し、おおむね仕様に沿った管理であった。
やや悪い	2	協定等をほぼ遵守し、おおむね仕様に沿った管理であったが、一部に課題があった。
悪い	1	協定等を遵守できず、仕様に沿った管理ができなかった。

評価項目		評価の着眼点	評価	管理者評価理由	評価	担当者評価理由
業務評価指標	協定書・仕様書で示した事項	協定書・仕様書で示した事項が適切に履行されているか。 ・ 条例で示した開館日数と実開館日数は適切か など	5	仕様書記載の休館日以外、適切に開館することが出来た。	5	条例で示した開館日数のとおり、適切に開館した。
	維持管理状態	維持管理の状態が適切か。など	5	清掃や点検など、適切な維持管理に努めた。	5	適切な維持管理が行われている。
インプット指標	行政資源投入量	指定管理料の増減の状況は。 指定管理料は適正か など	5	令和6年度と比較し、362千円増額となった。	5	令和6年度と比較し、362千円増額したが、人件費の増が主なものである。毎年、指定管理者と町で協議を実施し、適切な予算計上を行っている。
	職員投入及び物品提供の状況	職員投入及び物品提供の状況は。 ・ 町職員の関与や提供物資等は適切か など	5	ふれあいセンターに係る費用や改善点等について、適宜町と協議し対応した。	5	ふれあいセンター運営について、適宜指定管理者と町とで協議した。
アウトプット指標	利用者数の状況（事業の活動量、活動実績）	事業計画どおりの利用状況になっているか。 ・ 利用者は事業計画どおりか（環境の変化など外部要因考慮） など 利用者の満足度を得られているか。 ・ 職員の接客態度、利用条件等は適切か など	5	事業計画で行っている文化向上事業では、毎年人気の高い映画上映会事業を継続し、作品選定も前年度のアンケートを参考に行った。また新たに交流事業として、2月に体力づくり講座（全3回）を実施した。	5	事業参加者の意見を参考にしながら文化向上事業を実施するなど、利用者の満足度向上を意識した取り組みが行われている。また、スポーツ推進委員の協力を得て、新たに体力づくり講座の実施など新たな取組も行われている。
	施設の稼働状況（稼働日数・貸し出し日数）	行政と連携を図り施設の目的を達成しているか。 ・ 施設の設置目的を達成しているか など	5	前年度と比べて利用人数は減少したが、利用件数は増加した。施設利用について行政と調整し、ホームページや掲示等行い広報活動の充実を図った。	5	適切に運営を行い、施設の設置目的を達成している。
	利用料収入の状況	事業計画どおりのサービスが提供されているか。 ・ 事業の計画、実施、成果は計画どおりか。 ・ 営業努力の状況は認められるか など	5	減免団体及び有料団体について、計画どおり実施した。	5	減免団体、有料団体の扱いは適切に行っている。
業務収支	収支の状況	収支のバランスが適切か。 ・ 経営状況は安定しているか など	2	電気代等の物価高騰については、指定管理料の増額により適正な執行が出来たが、利用料収入の減などもあり、約30万円のマイナス決算となった。	2	指定管理者と協議し、人件費の増などの経費は適切に指定管理者委託料に反映している。利用料収入の減や業務委託料の増などの要因によりマイナス決算となった。
アウトカム指標	利用者の利便性の改善	利用者の利便性向上のため、どのような努力をおこなっているか。 ・ 利用者の意向反映について、適切に改善策が講じられているか など	5	館内に意見箱を設置し、いただいた意見についてはその都度協議、対応をした。	5	意見箱を設置し、寄せられた意見に対して適切に対応している。
	プログラム等質の改善	施設の活用や事業への創意工夫はどのようなことを行っているか。 など	5	オンライン会議で施設を利用したい個人へ、カフェコーナーを案内した。	5	貸室を利用できない個人利用の方をカフェコーナーに案内するなど柔軟に対応している。
	利用者の満足度の状況	モニタリング（利用者の満足度）はどのようなことをおこなっているか。など	5	館内に意見箱を設置するなどの対応をした。また窓口で利用申請の際も適宜ご意見を伺った。	5	館内に設置した意見箱や窓口対応時などに利用者から意見を伺うなどの取組みを継続して行っている。
遵法検査	遵法検査の状況	法定検査及び必要な検査並びに東京都や町の監査は適切におこなわれているか。など	5	法定検査及び必要な検査は、適切に実施をした。	5	法定検査及び必要な検査を適切に実施した。
総括	経費比較（前指定末と指定後における町支出の比較）	町職員の関与は適切か ・ 経費の状況は適正か。など	5	次年度予算作成時期には、毎年町職員と協議を行っている。施設に関する事項についてもその都度町へ報告し、必要な対応等を協議した。	5	指定管理料については、適宜指定管理者との間で協議を行っている。施設修繕については、都度協議し、適切に対応した。